

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2017年11月13日～2017年11月19日】

[当地報道をもとに作成]

平成29年12月5日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【南オセチア】

▼「南オセチア共和国大統領」の訪露(14日)

・ビビロフ「南オセチア共和国大統領」がモスクワを訪問し、プーチン露大統領と会談。露大統領府によれば、会談では、『同盟と統合に関する協定』の実施における多方面での努力を含む、露・南オセチア間の協力関係について議論された。

・会談後の共同記者会見で「プ」露大統領は、「南オセチア共和国」を「ロシアの重要なパートナー・同盟国」と呼び、ロシアは「南オセチア共和国」の社会・経済発展に対する支援を継続すると述べた。また、「今日の我々の議論の大部分は、貿易・投資に関する問題および社会分野での協力に当てられた」と述べた。

・スクヴォルツォヴァ露保健相とトチエフ「南オセチア共和国保健相」が、南オセチア在住ロシア国民に対するロシアの国民医療保険プログラムの延長に関する合意に署名した。また、ビビロフ「大統領」は、「南オセチア共和国国民」に対するロシア国籍の付与手続きの簡素化に関する合意がロシアとの間で準備されていると述べた。

▼第82回IPRM会合(16日)

・エルグネティにて第82回IPRM会合が行なわれた。参加者は行政境界線付近の状況を概ね安定的と評価したが、行政境界線付近での拘束および発砲事案について懸念が表明された。鉄条網などの障害物の設置およびそれらが住民の生活に及ぼす影響について議論。

・次回は12月19日に行なわれる予定。

2. 外 政

▼イゾリア国防相の訪米(12日-15日)

・イゾリア国防相がチャチバイア統合参謀長らとともに訪米。マティス米国防長官、マクマスター安全保障問題担当米大統領補佐官・安全保障評議会議長、グラハム米上院軍事委員会委員長らと会談。

・「マ」米国防長官との会談では、地域の安全保障状況、二国間の国防パートナー関係、ジョージア軍に対する米国の支援などについて議論された。「マ」米国防長官は、ジョージアの国防改革およびアフガニスタンでのミッションにおけるジョージアの貢献を評価し、「米国はジョージアと共にある」と強調。

▼国会議長のルーマニア訪問(13日-15日)

・コバヒゼ国会議長がルーマニアを訪問。ルーマニアのポペスク・タリチュエヌ上院議長、ドラグネア下院議長、

チオラク副首相、メレシュカヌ外相らと会談。会談では両国間の経済協力、黒海地域の情勢、ジョージアのEU・NATO加盟、ジョージアの国内改革・憲法改正、被占領地域の状況などについて議論。

▼ジョージア・スウェーデン・ポーランド外相会談(14日)

・東方パートナーシップ首脳会議を前にスウェーデンのヴァルストロム外相とポーランドのヴァシチコフスキ外相がジョージアを訪問し、ジャネリゼ外相と会談。「ジャ」外相は、「首脳会議がジョージア、東方パートナーシップおよびEUにとって良い結果をもたらすと確信している。首脳会議は、欧州との統合を目指すジョージアの選択に対する支持を改めて確認し、ジョージア国民に恩恵をもたらす具体的な措置を明らかにするだろう」と述べた。

▼ラピス・ラズリ回廊プロジェクト(15日)

・ジャネリゼ外相がトルクメニスタンを公式訪問し、アフガニスタン、トルコ、トルクメニスタン、アゼルバイジャンの外相とともに新たな物流回廊「ラピス・ラズリ」の整備に関する合意に署名。ラピス・ラズリは、アフガニスタンからトルクメニスタン、カスピ海、南コーカサスを経由して欧州に至る物流回廊。プロジェクトの総額は約20億ドル。

・「ジャ」外相はアフガニスタンに関する第7回地域経済協力会議に出席。また、メレドフ・トルクメニスタン外相と会談し、エネルギー、輸送、通信などの分野における二国間協力について議論した。

▼アバシゼ対露関係首相特別代表とカラーシン露外務次官の会談(16日)

・プラハにてアバシゼ対露関係首相特別代表とカラーシン露外務次官が会談。会談後に発表された露外務省の声明は、両国間の貿易・交通・人道交流の分野における進展に言及するとともに、「NATOとの関係の拡大および国際場裡におけるジョージア政府関係者による非友好的なレトリック」を批判している。アブハジア・南オセチアを経由したジョージア・露間の貿易の監視メカニズムの設置をめぐる2011年の合意の「準備作業の完了とその他の契約への調印」に向けた会合をジョージア、露およびスイスの参加により近い将来に実施することで合意。

・会談後、「ア」特別代表は、「我々は被占領地域の状況、両地域の軍事化、深刻な人権侵害、著しい国際法違反、ジョージアの領土一体性・主権の問題を提起した」、「両地域で進められている破壊的なプロセスに対するジョージアの立場を強調した」と述べた。

▼ブラジル外相のジョージア訪問(16日)

- ・ヌネス・ブラジル外相がジョージアを訪問し、クヴィリカシヴィリ首相、ジャネリゼ外相らと会談。会談後に行なわれた共同記者会見でジャネリゼ外相は、ブラジル外相の初めての訪問の意義を強調し「より安定的な発展と平和をもたらすべく、二国間の経済協力を拡大する用意を表明した」と述べた。「ヌ」ブラジル外相は、「ジョージア政府が様々な経済改革を成功裡に行なったことを承知している。改革によりジョージアは世界で最も開かれ、安定し、透明性・安全性などにおいて最も信頼ある国の一つとなった」と評価し、ブラジルはジョージアの改革を注視していると述べた。また、「ヌ」ブラジル外相は、ジョージアの主権・領土一体性に対する支持を確認し、ブラジルは紛争の平和的な解決に向けたジョージアの政策を支持すると述べた。
- ・両外相は観光分野における協力に関する合意に署名。

3. 内 政

▼政府組織の再編・大臣の交代(13日)

- ・クヴィリカシヴィリ首相が政府組織の大規模な再編と一部の大臣の交代を発表。再編により、4省と1つの国務大臣室が他の省に統合される。
- ・エネルギー省は経済・持続的発展省に統合される。
- ・環境・天然資源保護省は分割され、天然資源に関する部局が経済・持続的発展省に、環境に関する部局が農業省に統合され、環境保護・農業省となる。
- ・スポーツ・青年問題省も分割され、スポーツに関する部局が文化・遺跡保護省に、青年問題に関する部局が教育科学省に統合される。
- ・欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣室は外務省に統合される。
- ・内務省の緊急事態対策局および国家保安危機管理評議会の統合により、新たに緊急事態対策センターが設置される。対外諜報局は国家保安庁に統合される。
- ・クムシシヴィリ第一副首相兼財務相が第一副首相兼経済・持続的発展相に、財務相の後任にはバフタゼ・ジョージア鉄道社長が任命された。
- ・ムゲブリシヴィリ内相は緊急事態対策センター長官に、ガハリア副首相兼経済・持続的発展相が副首相兼内相になる。
- ・ジェジェラヴァ教育科学相の後任にチヘンケリ・トビリシ国立大学副学長が任命された。
- ・内閣の新たな編成は国会から改めて信任を得ねばならない。「ク」首相は、これらの変更は次の閣議で承認された後、国会での審議に付されるとして、変更は「行政支

出を削減しつつ、より現代的で柔軟な国家機関をつくる大きな前進を促すものになるだろう」と述べた。

▼トビリシ副市長候補者の指名(13日)

- ・カラゼ・トビリシ市長が副市長候補者 5 名を指名。第一副市長の候補者はフマラゼ前エネルギー次官。その他の 4 名は、ビタゼ前環境・天然資源保護次官、ベンデリアニ前ジョージア・ガス輸送会社社長、ニコレイシヴィリ前トビリシ副市長、エロシヴィリ現エネルギー相。「エ」エネルギー相はエネルギー省が廃止された後に任命される予定。
- ・副市長候補者はトビリシ市議会の承認を経て任命される。

▼トビリシ市議会の招集(14日)

- ・トビリシ市の新しい市議会が招集され、これまでトビリシ市議会第一副議長であったトケマラゼ議員(ジョージアの夢・民主ジョージア)が議長に選出された。副議長にはアフフレディアニ議員(第一副議長)、ダルチア議員、ウジュマジュリゼ議員が選出された(いずれも与党)。
- ・議席配分は与党 40 議席、統一国民運動 5 議席、自由のための運動・欧州ジョージア 3 議席、愛国者連合 2 議席。

▼内務次官の任命(16日)

- ・ガハリア内相がサバナゼ国家保安庁テロ対策センター次長、ジャヴァハゼ経済・持続的発展次官、マラニア内務次官の 3 名を内務次官に任命。

4. 経 済

▼2016年のGDP調整値(15日)

- ・国家統計局が 2016 年の国内総生産の調整値を発表。名目 GDP は 34,028.5 百万ラリ (14,377.9 百万ドル)。国民一人当たり 9,146.4 ラリ (3,864.6 ドル)。実質 GDP 成長率は 2.8%。GDP デフレ率は 4.2%。
- ・セクター別内訳は貿易 17.0%、工業 16.4%、輸送・通信 9.9%、行政 9.1%、農林業・漁業 9.0%、建設 8.5%、不動産 6.7%、保健・社会事業 6.1%、その他 17.4%。

▼2017年10月の国際送金(16日)

- ・国立銀行の資料によれば、2017 年 10 月の外国からジョージアへの送金額は 123.0 百万ドル (307.1 百万ラリ)。前年同月比 20.0% 増。
- ・送金元の国別では、金額の大きい順にロシア 31.9%、米国 10.0%、ギリシャ 10.8%、イタリア 10.3%、米国 10.0%、イスラエル 9.0%、トルコ 8.2%。EU 諸国からの送金が 31.5% を占める。
- ・2017 年 10 月のジョージアから外国への送金額は 18.5 百万ドル (46.2 百万ラリ)。前年同月比 3.9% 増。